

事務事業マネジメントシート  
(兼) 予算編成資料・実施計画資料

事務事業名	ジュニアリーダー養成事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12398
			所属課室	生涯学習課	課長名	小野 義邦
			所属担当	青少年担当	担当者名	長谷部寿仁
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01 名称 一般 款 10 項 04 目 03 細目 030 細々目 19		
政策	24	青少年の健全育成	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		
施策	38	健全育成支援体制の強化充実				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠			
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 学区を越えた仲間と団体活動の楽しさや集団活動を通して、自立・共同・奉仕を体験的に学習し、普段学校や家庭では期待しにくい経験を体験し、地域の子どものリーダーとして活躍できる子どもを育てる。			事業費の主な内訳 ( 24年度 決算見込 )		
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)
			講師謝金	90	会場借上料	18
			消耗品費	118		
			食糧費	242		
			その他保険料	35		
			機械及び車輛借上料	90	計	593

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
	25年度活動予定		
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地芳債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	600	593	942	942	942			
		事業費計(A)	千円	600	593	942	942	942	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	8	8	8	8	8			
		延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300			
		人件費計(B)	千円	1,189	1,189	1,189	1,189	1,189	0	0	
		(A)+(B)	千円	1,789	1,782	2,131	2,131	2,131	0	0	
		活動指標	アイウ	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0			
		対象指標	アイウ	170.0	170.0	170.0	170.0	170.0			
		成果指標	アイウ	170.0	170.0	170.0	170.0	170.0			
		上位成果指標	アイ	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0			

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前から学区を越えた仲間と団体活動の楽しさや集団活動を通して、自立・共同・奉仕を体験的に学習し、普段学校や家庭では期待しにくい経験を体験し、地域の子どものリーダーとして活躍できる子どもを育てる。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	当初、自根から始まった事業が、現在は全市に拡大して実施している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	地域の子どものリーダーとして活躍できる子どもを育てるため期待されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	合併前は自根地区で実施していたものを、合併後は全地区を対象に実施している。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	なし。

事務事業名	ジュニアリーダー養成事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 学区を越えた仲間と団体活動の楽しさや集団活動を通して、自立・共同・奉仕を体験的に学習し、普段学校や家庭では期待しにくい経験を体験し、地域の子どもリーダーとして活躍できる子どもを育てることに貢献している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 小学校と中学生が連携を持ち、地域のリーダーとして活躍できる子どもを地域で育てるため。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 実施時期が夏休みの期間に限定され、事業が集中する中、担当課の職員の数にも限りがあるため対象の調整作業が必要となる。また中学生で終わりではなく高校生まで対象を拡大することも視野に入れる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 学区を越えた仲間と団体活動の楽しさや集団活動を通して、自立・共同・奉仕を体験的に学習し、普段学校や家庭では期待しにくい経験を体験し、地域の子どもリーダーとして活躍できる子どもを育てるための事業である。この意識を植え付けること
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 毎年継続している事業なので、中断してしまうと地域のジュニアリーダーの育成が出来なくなる。 青少年育成に必要なジュニアリーダーの育成が出来なくなる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在も必要最小限の経費で実施しているため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 限られた職員だけでは賄いきれず、他課からの動員協力を得ながら、県立ハケ岳自然の家のメニューに沿って事業化しているので削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 参加希望者が全員参加しているので公平性は保たれている。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域の子どもの連携を深めるための事業としては、学校教育とは別にこのような「地域での縦つながり」を育成するような事業も必要である。当初白根地域を中心に実施してきたが、現在では市内全域に徐々に浸透している。事業での内容をマンネリ化しないように県関連団体等との連携・指導を受けて行くべきである。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 夏休みの宿泊研修のみではリーダー育成が達成できないため、平成25年度から月に1回の研修を実施していく。(宿泊研修は2回から1回に削減する) ② 子どもクラブ組織の中でリーダー育成が図られるよう働きかけをしていく。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑨	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑨																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① リーダー育成の指導者の確保 ② 各地区子どもクラブ指導者の意識付け ③																						